



ユーミックは、さまざまな得意分野を持つコンサルタントが集まったスペシャリスト集団です。

『マッサン流経営指南』

NHK連続テレビ小説「マッサン」をご覧になられているでしょうか。ニッカウヰスキー創業者の竹鶴政孝・リタ夫妻の物語で、創業期の苦難を乗り越える姿に共感したり、それを支える家族の姿に感動を覚える方も多いと思います。

今回は、「マッサン」関連本のうち『琥珀色の夢を見る～竹鶴政孝とリタ ニッカウヰスキー物語』（松尾秀助著）よりマッサンこと竹鶴政孝氏の創業者・経営者としての姿をご紹介します。なお、本著は竹鶴夫妻をよく知るご子息夫妻・従業員等からのインタビューを元に構成されておりマッサンの口ぐせや普段の姿が描かれています。



「ウヰスキーの仕事は私にとっては恋人のようなものである。恋している相手のためならどんな苦勞でも苦勞とは感じない。むしろ楽しみながら喜んでやるものだが、その心境である。」

これは、日本初のウヰスキー作り（土地買収、建物設計、税務署との折衝等を含む）をひとりでも短期間で行わなければならなかった頃の苦勞について語ったものです。困難の多い創業期を乗り越えるエンジンは創業者の情熱と言われており、苦勞を楽しみだと思える前向きさも創業者には必要です。



「納入業者を大事にしろ。」

製品を作るために必要な原材料・資材の納入業者を大切にされたマッサン。「新規の納入業者が必要になった時には従来の納入業者の方と話し合っ行うように…」という指示もしていたそうです。そのおかげでオイルショック時にも資材の入手には苦勞をしなかったそうです。創業時には自社で完結できないことも多く、連携先と一緒に新たな付加価値を創造することも必要です。自社を取り巻く企業・地域に至るまで関係者を大切にしていきたいですね。



大局観を身につける。

仙台工場新建設の際「できるだけ木を切るな」と命じ、地形も元のままを保持させました。これにより40棟ある建物の床の高さが全て違うこととなり、さらに樹木を残すために道路を迂回させる必要があり、作業効率は悪くなります。しかし、残された自然が美しい原酒を生み出し、仙台工場は美しい公園工場として知られるようになるという効果がありました。目先のことだけでなく大局から物事を判断するというのは創業者だけでなく経営者に共通の資質です。

このほか、本書にはマッサンを支えたリタ夫人の話やウヰスキー職人達の仕事に対する熱い思いについても紹介されています。ぜひ年末年始のお休みの際に読んでみてはいかがでしょうか。

さて今年も多くの皆様にお世話になりましてありがとうございました。我々ユーミックメンバー一同、来年も皆様のお役に立てるよう専門分野を活かしながら一層精進していきたいと思っております。引き続きよろしくお願い申し上げます。

小倉 綾

百貨店に入社後、仕入、販売や在庫管理販売促進の企画、運営、販売員教育業務や首都百貨店とのコラボレーションショップ店長として新規ショップ立ち上げを経験。現在、流通業やメーカー向けに販売促進や売場改善を中心としたコンサルティングをおこなっている。中小企業診断士

Red bar and empty box

Red bar and empty box

Red bar and empty box

Red dashed lines and red bars

Horizontal line



Red dashed lines and red bars